

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【公表番号】特表2012-523460(P2012-523460A)

【公表日】平成24年10月4日 (2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2012-506113(P2012-506113)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/06	(2006.01)
A 6 1 P	15/08	(2006.01)
A 6 1 P	15/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/16	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 P	31/14	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 P	33/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	23/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)
 A 6 1 P 21/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/06 (2006.01)
 A 6 1 P 1/02 (2006.01)
 A 6 1 P 19/04 (2006.01)
 A 6 1 P 21/04 (2006.01)
 A 6 1 P 5/14 (2006.01)
 A 6 1 P 17/02 (2006.01)
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)
 A 6 1 P 17/06 (2006.01)
 A 6 1 P 7/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00 Z N A
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 1/18
 A 6 1 P 1/16
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 37/00
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 3/00
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 15/06
 A 6 1 P 15/08
 A 6 1 P 15/02
 A 6 1 P 13/08
 A 6 1 P 13/02
 A 6 1 P 11/04
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 11/02
 A 6 1 P 31/16
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/22
 A 6 1 P 31/18
 A 6 1 P 31/20
 A 6 1 P 31/14
 A 6 1 P 33/02
 A 6 1 P 33/06
 A 6 1 P 33/04
 A 6 1 P 9/14
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 9/10 1 0 1
 A 6 1 P 11/16

A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/04
A 6 1 P 23/00
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 19/00
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 19/06
A 6 1 P 1/02
A 6 1 P 19/04
A 6 1 P 21/04
A 6 1 P 5/14
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

i) 薬学的に許容される担体または希釈剤と、
i i) 低温誘導性 RNA 結合タンパク質 (C I R P) 阻害剤と
を含む医薬組成物。

【請求項 2】

前記 C I R P 阻害剤が、C I R P に特異的に結合する抗体またはその機能的断片であり、
前記抗体が、C I R P の 1 つ以上の生物活性を阻害する、請求項 1 に記載の医薬組成物
。

【請求項 3】

前記抗体が、ポリクローナル抗体である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記抗体が、モノクローナル抗体である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記抗体が、キメラ抗体、ヒト化抗体、またはヒト抗体である、請求項 2 に記載の医薬
組成物。

【請求項 6】

前記抗体が、単鎖抗体である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記 C I R P 阻害剤が、C I R P の発現を低下させる C I R P アンチセンス分子である
、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記 C I R P 阻害剤が、1000 ダルトン未満の分子量を有する、請求項 1 に記載の医
薬組成物。

【請求項 9】

炎症性状態を有する被験対象を治療するための、請求項 1 ~ 8 いずれか記載の医薬組成

物。

【請求項 10】

前記炎症性状態が、急性の炎症性エピソードである、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記炎症性状態が、虫垂炎、消化性潰瘍、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、腹膜炎、膵臓炎、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、喉頭蓋炎、無弛緩症、胆管炎、胆嚢炎、肝炎、ウィッブル病、喘息、アレルギー、アナフィラキシーショック、免疫複合体病、器官虚血再灌流障害、器官ネクロシス、枯草熱、セブシス、セブシス - 敗血症性ショック、敗血症、内毒素性ショック、悪液質、過高体温、好酸球性肉芽腫、肉芽腫症、サルコイドーシス、敗血症性流産、精巣上体炎、膣炎、前立腺炎、尿道炎、気管支炎、気腫、鼻炎、肺炎、塵肺症、肺胞炎、細気管支炎、咽頭炎、肋膜炎、静脈洞炎、インフルエンザ、呼吸合包体ウイルス感染症、ヘルペス感染症、HIV 感染症、B 型肝炎ウイルス感染症、C 型肝炎ウイルス感染症、播種性菌血症、デング熱、カンジダ症、マラリア、フィラリア症、アメーバ症、包虫嚢胞、脈管炎、血管炎、心内膜炎、動脈炎、アテローム性動脈硬化症、血栓性静脈炎、心膜炎、心筋炎、虚血、結節性動脈周囲炎、リウマチ熱、小児脂肪便症、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、脳膜炎、脳炎、神経炎、神経痛、脊髄損傷、麻痺、ブドウ膜炎、関節炎、関節痛、骨髓炎、筋膜炎、バジエット病、痛風、歯周病、関節炎、関節滑膜炎、重症筋無力症、甲状腺炎、全身性紅斑性狼瘡、同種異系移植片拒絶反応、移植片対宿主疾患、グッドパスチャー症候群、ベーチェット症候群、強直性脊椎炎、ベルギー病、ライター症候群、ホジキン病、乾癬、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壊死性小腸大腸炎、および外傷出血からなる群から選択される、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記炎症性状態が、虫垂炎、消化性潰瘍、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、腹膜炎、膵臓炎、肝炎、喘息、アレルギー、アナフィラキシーショック、器官ネクロシス、枯草熱、セブシス、セブシス - 敗血症性ショック、敗血症、内毒素性ショック、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、悪液質、敗血症性流産、播種性菌血症、小児脂肪便症、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、関節炎、全身性紅斑性狼瘡、同種異系移植片拒絶反応、移植片対宿主疾患、脊髄損傷、麻痺、乾癬、虚血再灌流（腸、肝臓、腎臓、心臓、脳、および四肢）、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壊死性小腸大腸炎、および外傷出血からなる群から選択される、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記炎症性状態が、腹膜炎、膵臓炎、セブシス、セブシス - 敗血症性ショック、内毒素性ショック、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、関節リウマチ、全身性紅斑性狼瘡、虚血再灌流（腸、肝臓、腎臓、心臓、脳、および四肢）、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壊死性小腸大腸炎、喘息、および外傷出血からなる群から選択される、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記炎症性状態が、外傷出血、セブシス - 敗血症性ショック、虚血再灌流（腸、肝臓、腎臓、心臓、脳、および四肢）、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、および壊死性小腸大腸炎からなる群から選択される、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記被験対象が、ヒトである、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

低温誘導性 RNA 結合タンパク質（CIRP）に特異的に結合する単離抗体またはその機能的断片であって、前記抗体またはその機能的断片が CIRP の 1 つ以上の生物活性を阻害する、単離抗体またはその機能的断片。

【請求項 17】

前記抗体が、ポリクローナル抗体である、請求項 16 に記載の抗体。

【請求項 18】

前記抗体が、モノクローナル抗体である、請求項 16 に記載の抗体。

【請求項 19】

前記抗体が、キメラ抗体、ヒト化抗体、またはヒト抗体である、請求項 16 に記載の抗体。

【請求項 20】

前記抗体が、単鎖抗体である、請求項 16 に記載の抗体。

【請求項 21】

低温誘導性 RNA 結合タンパク質 (CIRP) 活性を阻害するための医薬組成物であって、CIRP 阻害剤を含む、医薬組成物。

【請求項 22】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP 受容体結合を阻害する、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 23】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP シグナリングを阻害する、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 24】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP 媒介炎症を阻害する、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 25】

前記 CIRP 阻害剤が、炎症促進性サイトカインの CIRP 媒介放出を阻害する、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 26】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP の 1 つ以上の生物活性を阻害するペプチドである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 27】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP に特異的に結合する、請求項 26 に記載の医薬組成物。

【請求項 28】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP 受容体に結合する、請求項 26 に記載の医薬組成物。

【請求項 29】

前記ペプチドが、CIRP 由来のペプチドである、請求項 26 に記載の医薬組成物。

【請求項 30】

前記 CIRP 由来のペプチドが、CIRP の抗原性断片である、請求項 29 に記載の医薬組成物。

【請求項 31】

前記 CIRP 阻害剤が、CIRP に特異的に結合し、かつ CIRP の 1 つ以上の生物活性を阻害するペプチドである、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 32】

前記ペプチドが、CIRP 由来のペプチドである、請求項 31 に記載の医薬組成物。

【請求項 33】

前記 CIRP 由来のペプチドが、CIRP の抗原性断片である、請求項 32 に記載の医薬組成物。

【請求項 34】

単離モノクローナル抗体またはその機能的断片であって、低温誘導性 RNA 結合タンパク質 (CIRP) に対する結合について、配列番号：1 の精製された組換え CIRP をウサギに注射することにより惹起された CIRP に対するウサギポリクローナル抗血清と特異的に競合する、単離モノクローナル抗体またはその機能的断片。

【請求項 35】

炎症性状態を有する被験対象を治療するための、CIRP 阻害剤を含む医薬組成物であって、該 CIRP 阻害剤が、CIRP への結合について、ウサギに配列番号：1 の精製組換え CIRP を注射することで生じた CIRP に対するウサギポリクローナル抗血清と特

異的に競合する抗体またはその機能的断片である、医薬組成物。

【請求項 36】

前記抗体またはその機能的断片が、C I R P の 1 つ以上の生物学的活性を阻害する、請求項 35 に記載の医薬組成物。

【請求項 37】

該抗体が、ポリクローナル抗体である、請求項 36 に記載の医薬組成物。

【請求項 38】

該抗体が、モノクローナル抗体である、請求項 36 に記載の医薬組成物。

【請求項 39】

該抗体が、キメラ抗体、ヒト抗体、またはヒト化抗体である、請求項 36 に記載の医薬組成物。

【請求項 40】

該抗体が、単鎖抗体である、請求項 36 に記載の医薬組成物。

【請求項 41】

前記炎症性状態が、虫垂炎、消化性潰瘍、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、腹膜炎、膵臓炎、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、喉頭蓋炎、無弛緩症、胆管炎、胆嚢炎、肝炎、ウィッブル病、喘息、アレルギー、アナフィラキシーショック、免疫複合体病、器官虚血再灌流障害、器官ネクロシス、枯草熱、セブシス、セブシス - 敗血症性ショック、敗血症、内毒素性ショック、悪液質、過高体温、好酸球性肉芽腫、肉芽腫症、サルコイドーシス、敗血症性流産、精巣上体炎、膣炎、前立腺炎、尿道炎、気管支炎、気腫、鼻炎、肺炎、塵肺症、肺胞炎、細気管支炎、咽頭炎、肋膜炎、静脈洞炎、インフルエンザ、呼吸合包体ウイルス感染症、ヘルペス感染症、H I V 感染症、B 型肝炎ウイルス感染症、C 型肝炎ウイルス感染症、播種性菌血症、デング熱、カンジダ症、マラリア、フィラリア症、アメーバ症、包虫嚢胞、脈管炎、血管炎、心内膜炎、動脈炎、アテローム性動脈硬化症、血栓性静脈炎、心膜炎、心筋炎、虚血、結節性動脈周囲炎、リウマチ熱、小児脂肪便症、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、脳膜炎、脳炎、神経炎、神経痛、脊髄損傷、麻痺、ブドウ膜炎、関節炎、関節痛、骨髄炎、筋膜炎、パジエット病、痛風、歯周病、関節炎、関節滑膜炎、重症筋無力症、甲状腺炎、全身性紅斑性狼瘡、同種異系移植片拒絶反応、移植片対宿主疾患、グッドパスチャー症候群、ベーチェット症候群、強直性脊椎炎、ベルギー病、ライター症候群、ホジキン病、乾癬、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壊死性小腸大腸炎、および外傷出血からなる群から選択される、請求項 36 に記載の医薬組成物。

【請求項 42】

前記炎症性状態が、虫垂炎、消化性潰瘍、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、腹膜炎、膵臓炎、肝炎、喘息、アレルギー、アナフィラキシーショック、器官ネクロシス、枯草熱、セブシス、セブシス - 敗血症性ショック、敗血症、内毒素性ショック、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、悪液質、敗血症性流産、播種性菌血症、小児脂肪便症、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、関節炎、全身性紅斑性狼瘡、同種異系移植片拒絶反応、移植片対宿主疾患、脊髄損傷、麻痺、乾癬、虚血再灌流（腸、肝臓、腎臓、心臓、脳、および四肢）、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壊死性小腸大腸炎、および外傷出血からなる群から選択される、請求項 41 に記載の医薬組成物。

【請求項 43】

前記炎症性状態が、腹膜炎、膵臓炎、セブシス、セブシス - 敗血症性ショック、内毒素性ショック、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、成人呼吸促迫症候群、慢性閉塞性肺疾患、関節リウマチ、全身性紅斑性狼瘡、虚血再灌流（腸、肝臓、腎臓、心臓、脳、および四肢）、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壊死性小腸大腸炎、喘息、および外傷出血からなる群から選択される、請求項 42 に記載の医薬組成物。